

学融合推進センター News Letter 第9号

The Center for the Promotion of Integrated Sciences (CPIS)

August/2012

学融合推進センター 運営委員からのメッセージ

本ニュースレターでは第2号から第7号までの6回に渡り、学融合推進センター運営委員からのメッセージを紹介して参りましたが、この4月に組織体制の見直しと運営委員の入れ替えが行われたことを踏まえ、改めまして各委員からのメッセージをお伝えして参ります。

1. 先導科学研究科 颯田 葉子 教授 (副センター長・学術交流事業責任者)

「学融合推進センターの活動について」

学術交流事業は昨年度末に「学術交流会」を開催した。従来の修了生の交流促進を中心としたプログラムから、修了生だけでなく、教員、在校生も含めて「総研大のアカデミアが生み出す交流」に焦点を当てた。修了生を招聘して講演をしてもらうだけでなく、総研大の各専攻での先端的研究の紹介や、堀田前情報システム機構長による新修了生を対象とした「餞セミナー」等をプログラムに組みこんだ。この学術交流会に参加した新修了生は決して多いとは言えないし、講演時間の配分など反省すべき点も多かった。が、レポートをみると出席者は概ね、広い視野と高い専門性の獲得を意識していることが読み取れた。平成24年度3月の交流会では、広報に力を入れ、各専攻での研究をお互いに理解する機会として定着させていきたい。また、この講演録は毎年冊子にして記録に残す予定である。

本学が目指す教育研究目標のひとつは、分野を超えた融合研究であり、学融合センターの使命はそのあらたな「融合」のシード探しにあると思う。「学術交流会」や「アカデミックサロン」など、異分野の研究者の出会いと融合の機会を提供することから始めたい。

これまでの学術交流事業担当に加えて、今年から学融合推進センターの副センター長を拝命した。学融合センターが総研大の「融合」の真の中核となれるよう努力していきたい。

2. 先導科学研究科 佐々木 颯 教授 (兼担教員・学融合研究事業責任者)

「学融合推進センター研究事業の活動について」

発足して3年が経過した学融合センターの役割はいろいろありますが、全国に分散するキャンパスを持ち、多様な分野にまたがる国立研究機関を束ねて発足した総研大にとって、機構や専攻を超えた協力協働は、総研大の存在意義に直結する課題といえます。センター研究事業では、機構や専攻をまたぐ共同研究の支援に大きな努力を注いできました。具体的には、文理融合型共同研究、分野・専攻横断型の共同研究、若手研究者支援、女性研究者支援の4つの枠で、研究課題を公募し、採択課題の支援を行っています。応募課題の書類審査やヒアリングでは、文系から理系まで、多様な分野にまたがる課題を審査することになります。総研大ならではの難しさとも言えますが、分野が変わっても、いい研究はその自然の輝きで多くの人に訴えるものがあるというのが素朴な印象です。採択課題の研究内容は、年に1回、葉山で開催される合同報告会で聞くことができます。発表会に参加すると、研究の多様性に圧倒されますが、全く専門外の研究から刺激を受ける事が多々あります。

ようやく軌道の乗り始めた学融合研究事業ですが、今年度から新しい試みとして、分野を超えた共同研究の芽を育てる目的で「アイデアサロン」を開催します。より効果的な共同研究課題の立ち上げに資する事を目指す試みですので、ぜひご協力いただければと思います。

学融合推進センター 新体制のご紹介

平成22年度に発足しました学融合推進センターですが、今年度より組織体制を一部変更することにより事業内容の一層の充実に向けた活動を推進していくこととなりました。ここでは新体制についてご紹介いたします。

1. 学融合推進センター構成員

センター長	平田 光司	教授		
副センター長	颯田 葉子	教授	(先導科学研究科)	学術交流事業責任者
兼担教員	佐々木 颯	教授	(先導科学研究科)	学融合研究事業責任者
兼担教員	大田 竜也	准教授	(先導科学研究科)	情報ネットワーク事業責任者
兼担教員	田辺 秀之	准教授	(先導科学研究科)	学術広報事業責任者
専任教員	岩瀬 峰代	講師		学術交流事業副責任者
専任教員	見上 公一	助教		学融合研究事業担当者
専任教員	奥本 素子	助教		学術交流事業担当者
専任教員	山田 雅之	助教		学術交流事業担当者
専任教員	眞山 聡	助教		学術広報事業担当者
専任教員	村尾 静二	助教		学融合教育事業(映像)担当者
特任教授	桂 勲	教授		学融合教育事業責任者
協力教員	湯川 哲之	教授		
協力教員	麻生 武彦	教授		
協力教員	洞田 慎一	助教		
協力教員	米本 昌平	教授		

2. 学融合推進センター運営委員

学融合推進センター長		平田 光司	教授
研究科から選出された委員	文化科学研究科	鈴木 七美	教授
	物理科学研究科	依田 眞一	教授
	高エネルギー加速器科学研究科	齊藤 芳男	教授
	複合科学研究科	速水 謙	教授
	生命科学研究科	小林 武彦	教授
	先導科学研究科	蟻川 謙太郎	教授
センター長が指名する委員	文化科学研究科	荒木 浩	教授
	科学知の総合化プログラム長	長谷川 眞理子	教授
センター所属の教員	副センター長	颯田 葉子	教授
	兼担教員	佐々木 颯	教授
	兼担教員	田辺 秀之	准教授
	総合教育プログラム長	桂 勲	特任教授

学融合研究事業からのご報告

1. 平成24年度学融合研究事業 研究支援課題 採択結果

厳正な審査の結果、平成24年度学融合研究事業の採択研究課題が決定いたしました。今年度は採択枠の再編成を行い、従来の「公募型共同研究」と「戦略的研究プロジェクト」は「戦略的共同研究Ⅰ」と「戦略的共同研究Ⅱ」へと改められました。これに伴い、「戦略的研究プロジェクト」は「戦略的共同研究Ⅱ」へと統合され、「公募型共同研究」は新規の募集を停止し継続課題の支援のみを行うこととなっております。また、若手研究者研究支援と女性研究者研究支援の枠組みは今まで通り支援を実施いたします。

このニューズレターでは採択課題の研究代表者一覧を掲載いたしますが、各研究課題の詳細につきましては学融合推進センターのホームページよりご覧下さい。

学融合研究事業：http://cpis.soken.ac.jp/htdocs/?page_id=18

平成24年度学融合研究事業 採択課題 代表研究者一覧

戦略的共同研究Ⅰ	文化科学研究科	比較文化学専攻	菊沢律子	准教授	
	文化科学研究科	日本歴史研究専攻	大久保純一	教授	
	先端科学研究科	生命共生体進化学専攻	長谷川眞理子	教授	
	文化科学研究科	日本文学専攻	相田満	准教授	
	生命科学研究科	遺伝学専攻	井ノ上逸朗	教授	
戦略的共同研究Ⅱ	生命科学研究科	遺伝学専攻	齊藤成也	教授	
	文化科学研究科	国際日本研究専攻	鈴木貞美	教授	
公募型共同研究	文化科学研究科	日本文学研究専攻	大高洋司	教授	
	高エネルギー加速器科学研究科	加速器科学専攻	高山健	教授	
	高エネルギー加速器科学研究科	素粒子原子核専攻	磯暁	教授	
	高エネルギー加速器科学研究科	素粒子原子核専攻	田島治	助教	
	複合科学研究科	極域科学専攻	工藤栄	准教授	
	生命科学研究科	遺伝学専攻	平田たつみ	准教授	
	生命科学研究科	生理科学専攻	池田一裕	教授	
	生命科学研究科	生理科学専攻	重本隆一	教授	
	生命科学研究科	生理科学専攻	富永真琴	教授	
	先端科学研究科	生命共生体進化学専攻	木下充代	助教	
	先端科学研究科	生命共生体進化学専攻	颯田葉子	教授	
	先端科学研究科	生命共生体進化学専攻	本郷一美	准教授	
	文化科学研究科	メディア社会科学専攻	加藤浩	教授	
	学融合推進センター		平田光司	教授	
	若手研究者研究支援	文化科学研究科	日本文化研究専攻	西村慎太郎	准教授
		文化科学研究科	メディア社会科学専攻	鈴木一史	准教授
		物理科学研究科	構造分子科学専攻	木村哲就	助教
		複合科学研究科	極域科学専攻	菅沼悠介	助教
		複合科学研究科	極域科学専攻	田村岳史	助教
		生命科学研究科	遺伝学専攻	北川大樹	准教授
生命科学研究科		遺伝学専攻	北野順	准教授	
生命科学研究科		遺伝学専攻	野澤昌文	助教	
生命科学研究科		基礎生物学専攻	三井優輔	助教	
先端科学研究科		生命共生体進化学専攻	大槻久	助教	
先端科学研究科		生命共生体進化学専攻	標葉隆馬	助教	
学融合推進センター			眞山聡	助教	
学融合推進センター			山田雅之	助教	
女性研究者研究支援		物理科学研究科	構造分子科学専攻	近藤美欧	助教
		物理科学研究科	天文科学専攻	生田ちさと	助教
	生命科学研究科	遺伝学専攻	新屋みのり	助教	
	生命科学研究科	遺伝学専攻	宮崎さおり	助教	
	生命科学研究科	基礎生物学専攻	豊岡やよい	助教	
	生命科学研究科	基礎生物学専攻	荻野由紀子	助教	

2. 学融合研究事業 学内共同研究推進事業

学融合研究事業では本学教員からの共同研究提案などについて積極的な支援を行っておりますが、先進的かつ学際的な共同研究のより一層の推進を目的として学内共同研究推進事業を開始いたします。

本事業では専攻及び分野を越えた共同研究の促進を目指し、共同研究の立案に向けた新しい出会いの場と建設的な議論の場を提供いたします。具体的な枠組みとしましては、1) 共同研究に向けたアイデアの提案に関する情報の収集と発信、2) 共同研究に向けた提案を集中的に議論するワークショップ「学融合アイデアサロン」の開催という二つ連動した試みが計画されております。学融合推進センターのホームページより詳細をご確認の上、積極的なご参加を宜しくお願いいたします。

学内共同研究事業：http://cpis.soken.ac.jp/htdocs/?page_id=156
(文責：学融合推進センター 助教 見上 公一)

学融合推進センター棟 ラウンジスペースのご案内

昨年本学葉山キャンパス内に建設されました学融合推進センター棟はその内装の一部を模様替えし、本学全専攻の教職員や学生の皆様に自由にご利用いただけるラウンジスペースを新たに設置いたしました。無線 LAN が利用出来る作業スペースやミーティング用テーブルなどもございますので、講義や会議などの用事で葉山キャンパスへおいでになりました際には是非ご活用下さい。



学融合推進センター棟ラウンジスペース

学融合推進センター その他の事業予定

8月から10月にかけて現在のところ予定されている事業は以下の通りです。各事業の詳細・実施状況につきましては本学のホームページに掲載される予定です。是非とも、ご確認ください。

- 総研大レクチャー「科学における社会リテラシー」 申込み締め切り 8月17日(金)
@宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究所 9月3日(月)～6日(木)
 - 戦略的共同研究Ⅱ「日本における諸科学の編制と基礎概念の検討-文理融合の可能性を探る」
シンポジウム @京都駅前メルパルク京都 9月29日(土)～30日(日)
 - 後学期学生セミナー・日本文化を学ぶコース・日本語講座 申込み締め切り 9月26日(水)
@本学葉山キャンパス 10月11日(木)～14日(日)
- 総合研究大学院大学 HP：<http://www.soken.ac.jp/event/index.html>

編集委員会より

学融合推進センターが新しい体制に変わり4ヶ月が経過しました。葉山キャンパスにある学融合推進センター棟の内装も変わり心機一転、今までの活動をより一層充実すべく各事業が動いております。皆様のご協力、宜しくお願いいたします。

(文責：学融合推進センター 助教 見上公一)
学融合推進センター HP：<http://cpis.soken.ac.jp/htdocs/>